

坂東市補助金等検討委員会（市長あいさつ）

本日は大変お忙しい中、坂東市補助金等検討委員会にご出席をたまわりまして、そして、委嘱状を快くお引き受けいただきまして、心から感謝申し上げます。大変ありがとうございます。

本日、ご集まりの皆様方におかれましては、各方面にてご活躍、そして、地域に多大なるご貢献をなされている皆様方でありまして、当市における補助金等検討委員会の委員をお願いすることができまして、大変心強く思っているところであります。

さて、坂東市でございますが、旧岩井市と旧猿島町が平成 17 年 3 月 22 日に合併し、お蔭様をもちまして、丁度 3 年目を迎えるところであります。

私は、平成 6 年 4 月に岩井市長に就任して以来、合併までの約 11 年、3 期、そして坂東市の初代市長として、市民の信頼に応えるべく、誠心誠意、情熱をもって市政の舵取りをしてまいったつもりであります。

しかしながら、当市を取り巻く環境は地方分権の推進や地方の競争の時代の中、財政面についても大変厳しい状況となっております。

補助金については、まちづくりを行う上で、大変重要な役割を果たしておりますが、市民団体の育成という当初の目的を果たしたと思われるものや、時代の変化で役割を終えたと思われる補助金等があると思われまます。

当市においても、行財政改革が重要な課題であることから、聖域なき見直しを進めてまいりたいと考えております。

そのためにも、公平性や透明性の確保、そして、効率的、効果的な補助金の交付が必要となります。

委員の皆様には現行の補助金の実態をよく調査し、時代にふさわしい補助金のあり方を検討していただきたいと思っておりますので、ご尽力のほど心からお願いを申し上げ、挨拶といたします。

大変ご苦労さまです。よろしく申し上げます。